

# ソーラーパネル模擬電源

## Solar Panel Simulated Power Supply **SS-301**

『ソーラーパネルの基本特性 I-V [電流-電圧] 特性を模擬的に出力する専用電源装置です。使用環境や天候に影響されずに、ソーラーパネルを組み込む機器やシステムの設計、研究開発、性能試験等が可能。また、複数のランプを使用しソーラーパネルへ投光し調光する等の面倒な手間も不要です。』

最大出力  
70W



設計・研究開発に！

性能試験・評価に！

教育現場に！

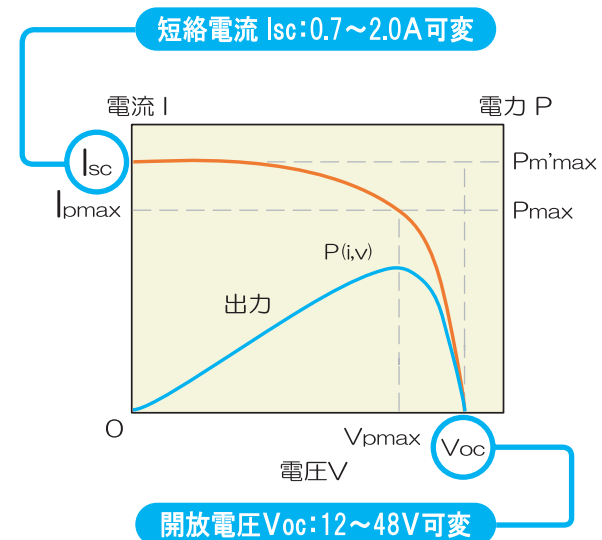
独自のノウハウで設計された電力制御ボード搭載。



### 主な特長

- ソーラーパネルの I-V [電流-電圧] 特性をシミュレートし安定発電！
- 短絡電流 I<sub>sc</sub> と開放電圧 V<sub>oc</sub> を右図の範囲で任意に設定可能！
- I-V 特性を10パターンプリセット可能！
- USBインターフェースを搭載し、開放電圧と短絡電流をPCからリモート制御！
- 各種データ（現在の出力電圧値、電流値、電力値など）をUSBで出力！

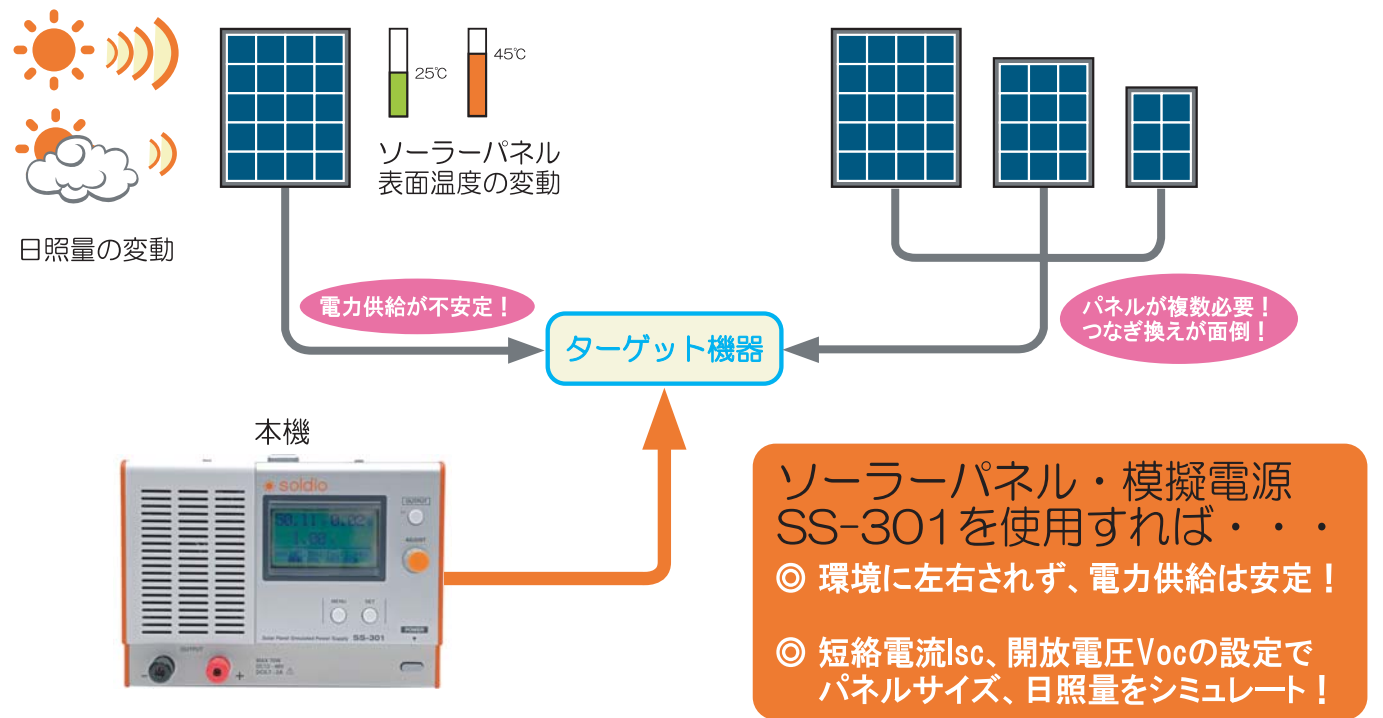
『短絡電流 I<sub>sc</sub>、開放電圧 V<sub>oc</sub> の設定可能範囲』



### ご使用例

I-V特性（発電量）が変動してしまう。

パネルサイズを変えてテストをしたい。



ソーラーパネル・模擬電源 SS-301 を使用すれば・・・

- ◎ 環境に左右されず、電力供給は安定！
- ◎ 短絡電流 I<sub>sc</sub>、開放電圧 V<sub>oc</sub> の設定でパネルサイズ、日照量をシミュレート！

### 定格性能・機能

#### 定格性能

##### 出力電圧

- 開放電圧可変範囲 V<sub>oc</sub> : 12~48V
- 最適動作電圧変化範囲 V<sub>p</sub> : 10~38V (開放電圧、短絡電流の設定により固定)
- 設定分解能 : 0.1V

##### 出力電流

- 短絡電流可変範囲 I<sub>sc</sub> : 0.7~2.0A
- 最適動作電流変化範囲 I<sub>p</sub> : 0.5~1.8A (開放電圧、短絡電流の設定により固定)
- 設定分解能 : 0.05A

##### 出力電力

- 最大出力電力 P<sub>max</sub> : 70W

##### 動作温度範囲

- -10~40°C (結露無きこと)

##### 外形寸法

- W215×H168×D355mm

#### 機能

##### プリセット

- 開放電圧/短絡電流 : 10組

##### 通信機能

※USB2.0準拠のポートを装備

##### データ出力：

現在の出力電圧値、電流値、電力値  
現在の開放電圧設定値、短絡電流設定値

##### データ入力：

出力のON/OFF制御  
開放電圧値・短絡電流値の設定

※本カタログの仕様・外観等は予告なく変更する場合があります (2011年9月22日現在)

企画・製造元



〒211-0014  
神奈川県川崎市中原区田尻町68-5  
TEL:044-522-4511  
<http://www.fukushima-ele.co.jp/>

販売店・お問合せ先